



油流出事故にご注意下さい!!

11月に入り、夏の暑さが懐かしく感じるほど寒くなってきました。

本格的な冬を迎えるにあたり、既にこたつやストーブをお使いになられているご家庭も多いかと思えます。

この冬期間、皆さんにご注意頂きたいのが、灯油などの油類を過って漏らし、水路や河川などに流出させてしまう油流出事故です。その事故原因は、給油中にその場を離れたり目を離してしまった等の「うっかりミス」や、ホームタンクの配管が腐食していたり緩んでいた等の「管理の不備」といった不注意によるものが大半を占めています。

河川は上水道、工業用水、農業用水に利用されていますので、事故が発生した場合には、河川管理者は汚染防止のために油の回収や拡散防止を行います。

油の回収には、オイルフェンスや油の吸着剤などを使用し、多くの人手も必要としますが、その回収にかかった費用は事故を起こした人(=原因者)に負担してもらうことになり、油量や設置期間によってはかなりの高額になってしまう場合もあります。

きれいな川を守るため、油漏れをおこさないように注意するとともに、もし、油が流れてしまった!!側溝や水路などに油が流れているのを発見した!!という場合には、最寄りの消防署・警察署・市や町役場に速やかに連絡をお願いします!!

油漏れを防ぐための心がけ

○その場を離れない・目を離さない!

ホームタンクなどから灯油を小分けする時は絶対にその場を離れない。

○屋根からの落雪や除雪時に注意!

屋根からの落雪や除雪作業で、ホームタンクや給油管が破損していないか注意しましょう。

○配管の場所には目印を!

配管の破損を防ぐために雪囲いをしたり、配管の場所が雪でわからなくならないように目印をたてておきましょう。

○定期点検を怠らない!

配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。



↑管内で実際に起きた油流出事故の写真。水路にギラついた油膜がみられ、灯油独特の臭いが発生します。



↑油は浮くので水面にオイルフェンスや油吸着マットを設置します。油が流れて来ている間は、何度も交換が必要になるため、高額な費用になる場合も・・・。

赤生津地区河道掘削工事に伴う土砂運搬のお知らせ



北上川赤生津地区(奥州市前沢区)での治水対策は平成22年度より着手したところですが、今年度も治水安全度の向上を目的とした河道掘削工事を行っています。

これに伴い、一般県道を走行して土砂運搬していますので工事期間中は地域住民をはじめ、付近を通行される皆様には何かとご不便をお掛けしますが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(運搬期間は平成24年11月1日から平成24年12月下旬頃までを予定しています。)



河道掘削とは、計画された川の水が流れる断面を確保するため、河川の土砂を掘削し、洪水時の水位低下を図るために行うものです。この赤生津地区で掘削した土砂は、ダンプトラックで県道14号線を走行して箱石橋下流付近の平泉町長島まで運搬し、新しい堤防を作る土砂に利用しています。